

在宅2拠点 新センター長からのご挨拶

在宅リハビリテーションセンター成城

平成24年7月1日付で在宅リハビリテーションセンター成城センター長兼成城リハビリテーションクリニック院長に就任いたしました。皆様にご報告申し上げます。

在宅リハビリテーションセンター成城の建物内には、「成城リハビリテーションクリニック」(有床診療所、入院(19床)、訪問診療、外来診療、訪問リハビリテーション、外来リハビリテーション)、「成城リハビリテーションクリニック通所リハビリテーション」、「成城リハビリテーションクリニックケアプランサービス」(居宅介護支援事業所、ケアマネージャー)、「訪問看護ステーション成城リハ」があり、病気を抱えながら在宅での生活続ける患者さん・利用者さんが必要とする機能のすべて(訪問介護、通所介護を除く)が整っています。

在宅リハビリテーションセンター成城も開設から8年が経過し、今後は訪問系サービス(訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション)と通所系サービス(通所リハビリテーションの短時間コース(10月からの当法人内4拠点で一斉に開始)、半日コース、1日コース)の内容拡充を重点課題として行っています。

在宅リハビリテーションセンター成城では、平成24年4月1日から成城リハビリテーションクリニックでは24時間対応の在宅療養支援診療所の対応も開始し、がん患者さんやご高齢の患者さんの看取りも行っています。また、「訪問看護ステーション成城リハ」が稼働し24時間対応の訪問看護を展開しています。

センター長の重責を担いましたうえは、鋭意先進、全職員一丸となり地域医療への貢献と在宅リハビリテーションセンター成城の発展のために精励いたす所存でございます。なにとぞご指導ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



センター長 柏木 潤一

在宅総合ケアセンター元浅草

在宅総合ケアセンター元浅草は、①在宅療養支援診療所 ②訪問看護ステーション ③居宅介護支援事業所の3つの事業体からなり、台東区を中心に千代田区、文京区、墨田区、足立区の一部で在宅医療やリハビリテーション、各種の介護サービスを提供しています。

①の診療所には在宅医療だけでなく、外来一般診療、外来リハビリテーション、入院(8床)、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの機能を備えています。1ヶ月あたりのそれぞれの事業のおおよその件数は、訪問診療 500件、外来診療 1,200件、入院 240件、訪問看護 270件、外来リハビリ 2,100件、訪問リハビリ 1,100件、通所リハビリ 700件、居宅介護支援 110件となっています。この4月から、センター長になりましたが、これらの複数の事業の連携を高め、サービスの相乗効果を出していきたいと考えています。その為に、対内的なアクションと対外的なアクションを行う必要があると考えました。対内的には、年度初めに3つのスローガンを掲げ、内部システムの根本的な見直しをおこなっています。そのスローガンとは

- ①変化を恐れない
- ②デザインへの配慮
- ③効率性を高める

というものです。就任から4ヶ月が経過しましたが、徐々に浸透しつつあると感じています。対外的には、地域の他の医療機関、介護関係機関との連携を強化したいと考えています。書類のやり取りをただで満足するのではなく、顔が見え、互いの信頼関係に裏打ちされた、地域連携を作っていきたいと考えています。



センター長 堀見 洋継

基本理念と方針

- 「人間の尊厳」の保持
- 「地域リハビリテーション」の推進
- 「情報」の開示
- 「主体性・自己決定権」の尊重
- 「ノーマライゼーション」の実現

患者さまの権利

- 人権を尊重される権利
- 最善の医療を受ける権利
- 自らの意志で選択・決定する権利
- 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利
- プライバシーの保護を求める権利

納涼祭!!

『初台リハビリテーション病院』編

初台リハビリテーション病院で8月19日恒例の納涼祭が開催されました。

病院1階、2階フロアを開放し、2階の訓練室では太鼓に、盆踊り、さらに初台リハ神輿が練り歩き熱気ムンムンの納涼祭でした。本年度初台も開院10周年を迎え納涼祭も10回目の記念の祭りで、参加者は入院患者様、外来患者様、ご家族合わせ約500名が所狭しと祭りを楽しんでいただきました。



▲威勢良く納涼祭を盛り上げる祭太鼓



▲賑やかに納涼盆踊り



▲熱気に溢れる初台リハ神輿



▲懐かしい音色に耳を傾けたいくなる風鈴



▲会場の熱気でカキ氷也大盛況



▲昔懐かし祭りの味はコレ



▲大人も子ども楽しく金魚すくいに興じる

夏祭り!!

『船橋市立リハビリテーション病院』編

船橋市立リハビリテーション病院で、8月26日夏祭りが開催されました。

病院1階フロア各所に飲み物、食べ物、ゲームなどの出店や訓練室を開放した盆踊り広場が設置されました。参加者は約800名、今回で5回目となり外来患者様やご家族の皆様には恒例の行事として楽しんでいただいております。



▲祭りだ！祭りだ！みんなで踊りましょ〜



▲小気味良い祭り囃子はみなさんを笑顔にしてくれます



▲あっという間に出店コーナーには人集りができてしまいます



▲夏祭りといえば、やっぱりカキ氷だね



▲どの味も懐かしい
船橋リハの水屋さん

出店の定番は何と言っても金魚すくい▶



◀熱気に溢れる会場は大盛況

船橋市立リハビリテーション病院の地域活動

● 船橋市介護支援専門員協議会北部研修会勉強会

【活動にいたる背景】

船橋市介護支援専門員協議会 北部地区役員より「高次脳機能障害に関する勉強をしたい」と要請があり、ST部門チームが担当しました。

【日時】 平成 24 年 8 月 24 日 18 時 30 分～20 時 30 分

【場所】 特別養護老人ホーム プレーゲ船橋

【対象】 船橋市北部地区 介護支援専門員 (35名)

【当院スタッフ】 高野麻美 (講師 教育研修部 ST 部門チーフ)

【内容】 高次脳機能障害の考え方、種類、
ADL への影響等の講義、MMSE の実演



● 船橋市豊富地区社協 転倒予防体操実施

【活動にいたる背景】

地域連携推進委員会活動における当院の病院見学会に「豊富地区社会福祉協議会」のボランティアの方々が参加され、豊富地区でも体操をお願いしたいという希望が寄せられました。

PT 部門サブマネージャーが講師となり開催しました。

【日時】 平成 24 年 7 月 28 日 13 時 30 分～15 時 00 分

【場所】 小室公民館

【対象】 豊富地区社会福祉協議会 ボランティア (38名)

【当院スタッフ】 伊藤直人 (講師 南 2 PT SM)

木島貴宏 (北 3 SW SM)

【内容】 船橋市立リハビリテーション病院概要説明
SW 木島 ～病床数、入院疾患割合、入院費用等～
PT 伊藤 ミニレクチャーと体操
「いきいきと動き続けるための貯筋のススメ」



● 船橋地域近隣介護職員勉強会

【活動にいたる背景】

船橋市立リハビリテーション病院では地域の介護職員の方々を対象に平成21年から勉強会を実施しています。自立支援を促進する考えや、技術を学びたいとの強い要望にお応えして開催しております。毎回定員一杯の受講者が出席されております。

【対象】 近隣地区介護職員

【定員】 40名～60名

【時間】 18 時 30 分～20 時 30 分 年 5 回程度



情報誌へのご意見がありましたら
メールにてお寄せください。



初台メールアドレス→ info@hatsudai-reha.or.jp
船橋メールアドレス→ info@funabashi-reha.com